

平成20年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	移動支援事業の効果的・効率的な実施方法の推進に資する事業
事業目的	<p>社会資源不足を解消するため、自立支援協議会で「インフォーマルサービスの開拓」としてフォーマルサービスを補うサービスの提供を目的にプロジェクトを設置し、関係機関と協力のうえ、研修体制等を確立し、サービス提供可能なボランティアを育成するもの。</p> <p>なお、ボランティアのターゲットとして、今後退職者が増える団塊の世代を見込んでいる。</p>
事業概要	<p>障害児の登下校の移動支援及び下校後の家庭内の見守りなど、フォーマルサービスでは対応ができない分野について、自立支援協議会プロジェクトにおいて、事前にニーズ調査を行い、ボランティアグループを育成し、移動支援モデル事業をNPO法人大牟田市障害者協議会に委託（コーディネーターを配置）し、相談支援事業所等関係機関と協力のうえ、11月から実施し、今後事業として行うため事業実施後のモニタリングを行うもの。</p>
事業実施結果及び効果	<p>モデル事業実施期間が短くて、また、事業内容の市民への周知の徹底ができなかったこともあり、少数のボランティアしか育成できず、地域密着での実施にはいたらなかった。</p> <p>当初、登下校の送迎を想定していたが、ニーズ調査の結果を踏まえ、自立での登下校を目指す見守り的な支援へと変化した。</p> <p>支援の結果として、対象となった障害児が第三者（ボランティア）と関わることで、コミュニケーション能力や自立心の成長を促し、完全に自立登下校が可能になった障害児がでてくるなど、自立促進という面では大きな効果が見えた。</p> <p>また、学校内の他の児童・生徒においてもボランティアやコーディネーターが支援する姿を見ることで、「自分たちも支援しなければ」という雰囲気が出てくるという効果もあった。</p> <p>多くのボランティアを育成することができず、多くの障害児を支援することはできなかったが、地域においてはボランティアが活動する姿が、認識されつつあるため、ボランティアの育成がしやすい状況にはなっていると思われる。</p>
事業主体	大牟田市、大牟田市障害者自立支援協議会、NPO法人大牟田市障害者協議会